



Cisco IOS XE Dublin 17.12.x の新機能

- [Cisco IOS XE Dublin 17.12.1 のハードウェア機能 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco IOS XE Dublin 17.12.1 のソフトウェア機能 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco IOS XE Dublin 17.12.1 でのハードウェアおよびソフトウェアの動作の変更 \(7 ページ\)](#)

Cisco IOS XE Dublin 17.12.1 のハードウェア機能

機能名	説明
Cisco Catalyst 9300X シリーズスイッチの Cisco QSFP28 to SFP28 Adapter モジュール	サポート対象トランシーバモジュールの製品番号： <ul style="list-style-type: none">• CVR-QSFP28-SFP25G 互換性のあるスイッチモデル： <ul style="list-style-type: none">• C9300X-12Y• C9300X-24Y• C9300X-48HX• C9300X-48TX• C9300X-24HX

Cisco IOS XE Dublin 17.12.1 のソフトウェア機能

機能名	説明
BGP EVPN VXLAN <ul style="list-style-type: none"> • VXLAN 環境 (L2 VNI) での ARP インспекションと DHCP 不正サーバー保護 • BGP EVPN VRF 自動 RD および自動 RT 	<p>このリリースでは、次の BGP EVPN VXLAN 機能が導入されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • VXLAN 環境 (L2 VNI) での ARP インспекションと DHCP 不正サーバー保護 : BGP EVPN VXLAN ファブリックは、ARP インспекションと DHCP 不正サーバー保護をサポートするようになりました。これらの機能を設定するには、EVPN VXLAN ファブリックの VTEP で ARP インспекションと DHCP スヌーピングを有効にします。 • BGP EVPN VRF 自動 RD および自動 RT : BGP EVPN レイヤ 3 オーバーレイ VRF 設定は、VRF のルート識別子 (RD) とルートターゲット (RT) を自動生成する新しい CLI の導入により簡素化されています。 <p>RD の自動生成は、<code>vrf rd-auto</code> コマンドを使用してグローバルレベルで有効にすることも、VRF サブモードで <code>rd-auto [disable]</code> コマンドを使用して VRF 専用で有効にすることもできます。</p> <p>VRF の RT の自動割り当てを有効にするには、VRF サブモードで <code>vnid vni-id</code> コマンドを使用します。</p> <p>また、このコマンドの <code>no</code> 形式を使用して、自動 RD および RT 機能を無効にすることもできます。</p>
管理セッションの RADIUS パケットの DSCP マーキング	SSH や Telnet などの管理セッションの RADIUS パケットの DSCP マーキングを設定できます。
AppGigabitEthernet の EPC サポート	組み込みパケットキャプチャ (EPC) のインターフェイスとして AppGigabitEthernet ポートを設定するためのサポートが導入されました。
DHCPv6 リレーメッセージのインターフェイス ID オプション	DHCPv6 リレーメッセージのインターフェイス ID オプションのサポートが導入されました。これにより、クライアントインターフェイスの物理インターフェイスの詳細が VLAN 番号とともにメッセージに含められます。

機能名	説明
IP 割り当てをネクストホップのみに制限する IP DHCP サーバーの変更	ip dhcp restrict next hop コマンドを使用して、インターフェイス内のネイバーデバイスにのみ DHCP IP アドレスを割り当てることができます。このコマンドを有効にすると、インターフェイスの DHCP サーバーは DHCP パケット内の MAC アドレスを使用し、Cisco Discovery Protocol (CDP) または Link Layer Discovery Protocol (LLDP) キャッシュテーブル内のアドレスと比較します。MAC アドレスが一致した場合に、DHCP IP アドレスがそのデバイスに割り当てられます。

機能名	説明
セキュアな固有デバイス識別子 (SUDI) 証明書のトラストポイントの変更	

機能名	説明
	<p>Cisco IOS XE Dublin 17.12.1 以降、トラストポイントに次の変更が導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の SUDI 証明書のトラストポイント名 <ul style="list-style-type: none"> デバイスが Cisco Manufacturing CA III 証明書をサポートし、無効になっていない場合、トラストポイント名は次のようになります。 <ul style="list-style-type: none"> Cisco Manufacturing CA III 証明書の場合、トラストポイント名は CISCO_IDEVID_SUDI から CISCO_IDEVID_CMCA3_SUDI に変更されました。 Cisco Manufacturing CA SHA2 証明書の場合、トラストポイント名は CISCO_IDEVID_SUDI_LEGACY から CISCO_IDEVID_CMCA2_SUDI に変更されました。 デバイスが Cisco Manufacturing CA III 証明書をサポートしていない場合、または no platform sudi cmca3 コマンドを使用して証明書が無効になっている場合、トラストポイント名は次のようになります。 <ul style="list-style-type: none"> Cisco Manufacturing CA SHA2 証明書の場合、トラストポイント名は CISCO_IDEVID_SUDI から CISCO_IDEVID_CMCA2_SUDI に変更されました。 Cisco Manufacturing CA 証明書の場合、トラストポイント名は CISCO_IDEVID_SUDI_LEGACY から CISCO_IDEVID_CMCA_SUDI に変更されました。 ハードウェア SUDI 証明書 <ul style="list-style-type: none"> デバイスが High Assurance SUDI CA 証明書をサポートしている場合、この証明書は CISCO_IDEVID_SUDI トラストポイントの下にロードされます。 デバイスが High Assurance SUDI CA 証明書をサポートしていない場合、ACT2 SUDI CA 証明書は CISCO_IDEVID_SUDI トラストポイントの下にロードされます。 show wireless management trustpoint コマンドの出力 <p>ワイヤレス展開用に Cisco Catalyst 9300 シリーズスイッチを Cisco Embedded Wireless Controller とともに使用する場合、show wireless management trustpoint コマンドの出力のトラストポイント名は、前述の変更されたトラストポイント名に更新されます。</p> <p>次の例は、show wireless management trustpoint コマンドのサンプル出力を示しています。デバイスが Cisco Manufacturing CA III 証明書をサポートしていない場合、または証明書が無効になっている場合は、次の出力のトラストポイント名に CISCO_IDEVID_CMCA2_SUDI と表示されることに注意してください。</p> <pre>Device# show wireless management trustpoint Trustpoint Name : CISCO_IDEVID_CMCA3_SUDI Certificate Info : Available Certificate Type : MIC Certificate Hash : <SHA1 - hash></pre>

機能名	説明
	<p>Private key Info : Available FIPS suitability : Not Applicable</p> <ul style="list-style-type: none"> • show ip http server status コマンドの出力 <p>HTTP サーバーのトラストポイントを CISCO_IDEVID_SUDI として設定した場合、show ip http server status コマンドの出力には、設定されたトラストポイントとともに動作中のトラストポイントが表示されます。</p> <p>次に、設定されたトラストポイント名と動作中のトラストポイント名の両方を含む、show ip http server status コマンドの出力例を示します。デバイスが Cisco Manufacturing CA III 証明書をサポートしていない場合、または証明書が無効になっている場合は、次の出力の動作中のトラストポイントに CISCO_IDEVID_CMCA2_SUDI と表示されることに注意してください。</p> <pre>Device# show ip http server status ... HTTP secure server trustpoint: CISCO_IDEVID_SUDI HTTP secure server operating trustpoint: CISCO_IDEVID_CMCA3_SUDI</pre>
<p>プログラマビリティ :</p> <ul style="list-style-type: none"> • NETCONF-SSH アルゴリズム • YANG データ モデル 	<p>このリリースでは次のプログラマビリティ機能が導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NETCONF-SSH アルゴリズム : NETCONF-SSH サーバー コンフィギュレーション ファイルには、サポートされているすべてのアルゴリズムのリストが含まれています。このリリース以降では、Cisco IOS コマンドまたは YANG モデルを使用して、実行時にこれらのアルゴリズムを有効または無効にすることができます。 • YANG データモデル : このリリースで使用できる Cisco IOS XE YANG モデルのリストについては、https://github.com/YangModels/yang/tree/master/vendor/cisco/xe/17121 を参照してください。
<p>request tech-support コマンド</p>	<p>request tech-support コマンドが導入されました。テクニカルサポートファイルとシステムレポートのアーカイブを生成します。</p>
<p>show idprom tan コマンド</p>	<p>show idprom tan コマンドが導入されました。識別プログラム可能読み取り専用メモリのトップアセンブリ部品番号とトップアセンブリ部品リビジョン番号を表示します。</p>

WebUI の新機能

このリリースに新しい WebUI 機能はありません。

Cisco IOS XE Dublin 17.12.1 でのハードウェアおよびソフトウェアの動作の変更

動作の変更	説明
BDPU ガードおよびルートガードの Syslog	BDPU ガードおよびルートガードの <code>syslog</code> が変更され、クライアントブリッジ ID 情報が含まれるようになりました。
<code>system env fan-fail-action shut</code> コマンド	<code>system env fan-fail-action shut</code> コマンドの予測される動作が修正されました。コマンドが有効になっている場合、複数のファンが動作を停止したり、取り外されたりすると、デバイスが自動的にシャットダウンします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。